

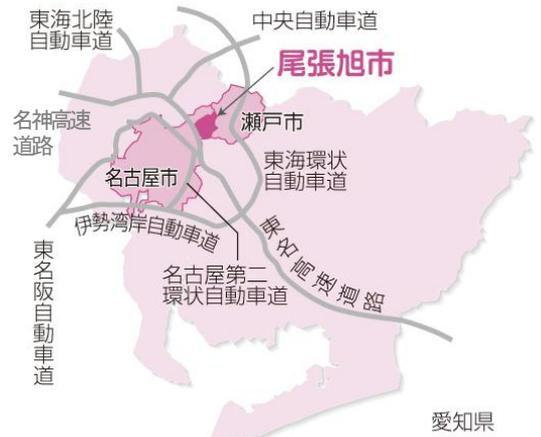
 <p>市長 水野義則</p>	<p>愛知県 おわりあさひし 尾張旭市</p> <p>ともにつくる 元気あふれる 公園都市</p> 	<p>【データ】 ※平成 24 年 4 月 1 日現在</p> <p>人口：81,953 人 世帯数：33,000 世帯 面積：21.03 ㎢ 市の花：ひまわり 市の木：くすのき 特産物：イチジク、プチヴェール、陶磁器、電気製品、再生紙 イベント：城山公園さくらまつり（4 月） あさひ健康フェスタ（4 月 29 日（尾張旭市健康の日）） 尾張旭たのしい夏まつり（8 月） 市民祭（10 月）</p>
 <p>市章</p>		

■ 尾張旭市の紹介

尾張旭市は、愛知県の北西部、濃尾平野の東部に位置し、東に瀬戸市、北と西は名古屋市に接しています。

市域は、東西 5.7km、南北 5.6km、面積 21.03 ㎢で、名古屋市の中心部から約 15 km と、通勤、通学などに恵まれた立地にあります。

本市は、気候や地理的条件に恵まれ、住宅都市の性格が強く、土地区画整理事業を積極的に推進してきたため、計画的に整備された市街地が広がっています。また、北部には、市域の 6 分の 1（3.62 ㎢）を占める愛知県森林公園（昭和 61 年全国森林浴 100 選の森に制定）をはじめとして、樹林地や公園、大小のため池などがあります。市中心部の農業振興地域とあわせて、緑地が点在しており、身近なところで豊かな自然にふれあうことができるバランスのとれたまちです。



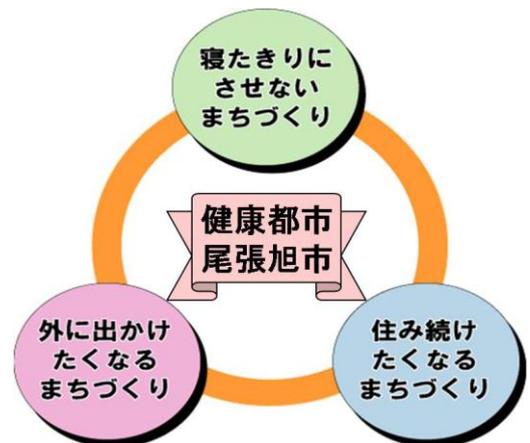
■ 健康都市づくりのあゆみ

尾張旭市は、平成 16 年 6 月に WHO（世界保健機関）西太平洋地域健康都市連合に加盟し、同年 8 月に「健康都市宣言」を行いました。翌年平成 17 年 4 月には、健康都市連合日本支部設立の発起人メンバーとなり、同年 12 月に「尾張旭市健康都市プログラム」を策定しました。平成 22 年 3 月には「尾張旭市の健康都市づくり～これまでの取り組みのまとめ～」を作成し、過去 5 年間の健康都市づくりの評価を行いました。

平成 23 年 11 月からは健康都市づくりの対象を個人から団体へ拡大する「ぐっと健康！人・まち・なかま事業」を立ち上げ、これにより全市的に健康都市づくりを進めています。

■ 健康都市づくりのめざす姿

「尾張旭市健康都市プログラム」の 3 つの施策の方針「寝たきりにさせないまちづくり」、「外に出かけたいまちづくり」、「住み続けたいまちづくり」に基づく事業が相乗効果を発揮し、まち全体で健康づくりを進めることによって、「健康都市 尾張旭市」をめざしています。



■ 市民が主体の健康都市づくり

市民一人ひとりが、人とまちの健康をめざし、積極的に健康都市づくりを実践しています。

◆ 自主グループによる筋力トレーニング

市では、高齢者が体力の維持・増進をはかることにより、将来にわたって自立した日常生活を送り、閉じこもりの予防を目的とした「らくらく貯筋教室」を開催しています。この教室の終了者が、自主的にグループを結成し、健康づくり推進員の指導のもと、市内全域で筋力トレーニングを継続しています。

現在34グループ、約800人（65歳以上の高齢者人口の約4.7%）が毎週筋力トレーニングに取り組んでおり、活動の輪が広がりつつあります。

(仲間と一緒に筋力トレーニング)



◆ “食”に関する事業

<食育紙芝居>

健康づくり食生活改善協議会では、市内11か所の保育園で手作りの食育紙芝居を披露しています。3種類の紙芝居を使い、生活のリズムに関することや、よく噛んで食べることの重要性などを楽しく読み聞かせています。子どもたちに「食」の大切さを伝えながら、保護者のかたにも食育の重要性を伝えています。

<家族でつくって食べよう！元気もりもり朝ごはん>

朝食の欠食や一人で食事をする「孤食」を防ぎ、規則正しい食習慣が身に付く子どもを育成するため、家族と作ることができる栄養のバランスがとれた朝ごはんのメニューを募集し、優秀作品を公表しています。また、特に優れた2作品は、社会福祉法人のレストランで、ランチメニューとして提供されています。

(保育園で紙芝居を披露)



◆ “歩くこと”に関する事業

<歩っとチャレンジウォーキング>

スポーツ推進委員が作成したウォーキングコースと、市や市民団体が開催するさまざまなウォーキングイベントから歩く距離を自由に選択するウォーキングです。合計歩行ポイント40歩っと（1歩っと＝約1km）以上を目指し、市内全域を楽しみながらウォーキングできるようになっています。平成24年度からは、市外のかたにも参加していただけるようになりました。

40歩っと以上の達成者には、完歩記念のミニタオルを贈呈しています。

(矢田川さんぽみちをウォーキング)



■ 健康都市づくりの対象を個人から団体へ拡大

<ぐっと健康！人・まち・なかま事業>

これまでに主に個人のかたを対象としてきた「健康都市」の取組を、市内に活動拠点を置く事業者、市民活動団体、学校等に広げる事業です。団体として日常的に行っている「健康都市づくり」の活動（例：ウォーキング大会の開催、育児セミナーの開催、定期的な地域清掃活動など）を市に登録してもらうものです。

【登録団体特典】

- ① なかま証を贈呈
- ② ロゴマークの使用を許可
- ③ 登録活動のホームページ等での公表
- ④ 健康都市づくり事業の情報提供

平成24年6月15日現在、18団体（15事業者、3市民活動団体）の登録があります。

(なかま証/A3サイズ)

